

# YEEG通信

新発田商工会議所青年部 HP <http://www.shibata-ci.or.jp/yee>

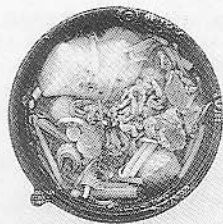
先月号に引き続き、第四回城下町しばた全国雑煮合戦に出店された県外の雑煮を紹介いたします。

まず、群馬県沼田市から「沼田商工会議所青年部」出品の「トマト雑煮」です。利根沼田はトマトの産地であり、トマト味を生かした創作雑煮として提供されました。トッピングとして刺身コンニャク(全国一位)とチーズ・プチトマトを乗せ、色どりが考慮された創作雑煮でした。



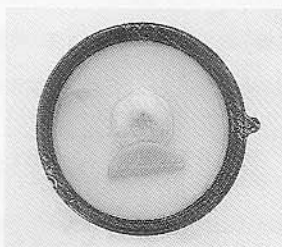
トマト雑煮

つづいて、神奈川県から「イーサン食堂」出品の「タイ王国の牛肉米麺ラーメン雑煮」です。タイの屋台料理の代表「牛肉米麺ラーメン」にお餅が入った創作雑煮でした。



タイ王国の牛肉米麺ラーメン雑煮

最後に、香川県より「香川味噌組合青年部」出品の「さぬき白みそ あん餅雑煮」で、甘口の白みそで仕上げたあん餅入り雑煮で、数少ない甘い出店雑煮のなかでも人気の一品でした。



さぬき白みそあん餅雑煮

寒かった冬もおわり、ようやく春めいてまいり、新年度へ向け準備されている事と思えます。

青年部メンバーも、あの寒い中開催された「第四回

全国雑煮合戦」の疲れも癒え、新年度に向け、新役員・事業計画等も決まり、少しづつではあります、準備を進めています。

その中でも、メインの事業で有る雑煮合戦においては「第四回全国雑煮合戦」の反省点・問題点をみんなで検討しあい、現状に甘んじることなく、次回の開催においても皆様方が楽しんで頂ける為に、常に前年度以上のもを旨し、全員で一致団結の元「第五回全国雑煮合戦」も素晴らしいものにしてようと動き始めています。

春には、田植え・秋には、自分達で植えた苗の稲刈りと、単に雑煮を食べるのではなく、親子での自然の中の体験を通して、自然の有難さや、自然の大切さを、実感してもらいつつ、食べ物大切さを肌で感じてもらう、自分達で作ったもち米で雑煮を頂く事により、依り一層味わい深いものになるかと、思います。

三月に入りましたが、まだまだ寒さから逃れられない感がいたします。しかし、太陽から降り注がれる日差しは明らかに春を思わせるまぶしいもので、待ち望んでいた季節が来たことを教えてくれているように感じているところではないでしょうか。

そして、このひとり言を書かせて頂くこともこれが最終となりませう。思い起こせば去年の四月に青年部の会長職に就かせていただき、ただ精一杯やり抜かなければとの思いと不安の思いとのスタートでした。しかしながら七十人の青年部メンバー全員が思いと心一つに、物事に取り組み素晴らしい力を発揮し、この私を全員で支えてくれたことに心から感謝いたします。またメンバーだけではなく、そのほか色々な本当に多くの皆様方にご支援ご指導ご協力を頂いた事にも、この場をお借りし感謝申し上げます。誠にありがとうございました。なお、この四月より石井俊氏が平成二十年度会長として活躍いたしますので、皆様のご声援ご協力を変わりなくお願いいたします。一年間ありがとうございました！

新発田商工会議所青年部

会長 大滝 浩行